

こころが一番!! 雨の日の湖北

雨の日の豊公園



豊公園の自由広場をグルッと取り囲む藤棚が、紫に彩られる頃になると、低くたれ込めた空からシトシト雨が続きます。そんなとき豊公園のあずまやは、恋人たちのもの。いつもの日曜日には、野球に興ずる子供たちやゲートボールを楽しむおじいちゃん、おばあちゃんたちで賑やかな公園も、雨の日には閑散としています。

あずまやのベンチで肩を寄せ合って、湖と空との境がないくらい、どんよりとした風景を見てもなく、尽きないおしゃべりを楽しみながら、恋人と忘れられない、日を過ごしてみてもいい?

屋根つきグリウンド

平成四年、晩秋のある日曜日の事。昨夜半すぎから雨の音。せっかくの日曜なのに、アウトドアスポーツも、行楽に行く気も失せる。今までは、何となく、日が過ぎていってしまうところ。

でも今は違うのだ。田村に湖北のランドマークである「屋根つきグラウンド」ができたのだ。さっそく問い合わせを：今日は、どんなスポーツ大会、コンサート、それともイベントがあるのでしょうか？

今日はなにも催しがないということ。それじゃあ、子供たちと「屋根つき自由広場」でボール遊び、バドミントン、ランニングなんかをしていい汗をかこうかな。

やっぱり、

雨あがりの琵琶湖かな？

雨がやんだかな？と思った直後の事。雲の切れ間から今までの沈黙を破るように、太陽の光がさつと湖面を照りつけた。まるでそれを待っていたかのように、鳥たちが飛び出して、高く低く声をあげながら舞い躍る。まだ波の荒い湖に向かって、漁師の船が出てゆく。船は、キラキラと反射する光の中へ溶け込むように進んでいった。

水平線の向こうに船が消えた頃に、ようやく風が凪いで波もおさまり、また静寂が訪れる。その時、対岸の向こうの山に沈む夕日に、どんなに心を奪われる事だろうか。波の音、風の音以外は何も聞こえない静かな空間に、落ちてゆく太陽には、何処か人の気持ちを落ち着かせる何かがあるのに違いない。それは雨の残り香のせいだろうか。

雨が降ると琵琶湖へ行きたくなる。霧に包まれた湖面を眺めながら、あの情景を思い出すために……



豊公園・屋根つきグラウンド・琵琶湖

ここが一番!! 雨の日の湖北

雨の日のオタノシム

三月にキャンズの西にオープンしたシーマックスに行く。うっとおしい雨の日も、空調ばちりの施設だから爽快。

ここには、水着で入る男女兼用のサウナがある。若い女性が入ってくると、もう出ようとしていたおじさん達も、ついつい長くなってノボせてしまうからカワイイ。

ワールプールという泡風呂もある。ここも混浴だ。本当は他人には教えたくないのだけれど、極めて快感的利用ができる。

泡が白濁して水面下は殆ど見えない。誰もいない時、こっそりとパンツを少しおろす。勢いのある泡の水流がオンリにあたり、フロイト的快感が得られる。

これは、発見者である私ひとりの楽しみであって、あなたがマネをすることを許しません。決して私に変態ではない。

雨もすてきな湖岸道路

何年前か前、バスでよく彦根へ出向く仕事何度々あり、四季折々に車窓からの眺めを楽しみました。窓から見る雨の眺めはとても素敵でした。湖面にけむる雨足の向こうに、乳白色の空が明るく、ただ静かな車の振動にゆら



シーマックス・湖岸道路・横山森林公園

れていると、ディズニー映画の魔法使いの老婆が毒薬を完成させるといふ場面を思い出します。柳の向こうから、鳥の姿や船の影がみえかくれて、いつまでも見飽きないものです。しみじみと俳句のひとつでもひねってみてください。

横山森林公園

変化に富んだ日本の四季のなかでも、春はひときわあでやかな季節です。五月、木々は萌黄色から新緑に装いを変え、色とりどりの花が咲き競います。長浜でも、ちょっとまちを離れば、雑木林や田園の畦にも春の花がいっぱい。

長浜市の東、名越町には横山のみもとに後鳥羽神社と名超寺があります。このふもとから横山の稜線に広がる森林公園は、五月、六月には、ツツジやアジサイ、シャクナゲなど花の宝庫。カラッと晴れた日もいいけれど、雨の日の横山もまたいいもの。雨の日の休日には、たまに傘をさしてハイキングを楽しみます。稜線からは、雨にけむる長浜のまちとびわ湖が、望できます。そして、雨にしっかりと濡れた花を愛でながら、ふもとへ通ずる幾本かの遊歩道をめぐります。